

HTML・CSS が分かればカンタン！

Dreamweaver の使い方

【基礎編】

DREAMWEAVER について	3	相対パスと絶対パス	26
■ DREAMWEAVER について	3	リストを作る (UL/OL/LI タグ)	27
Dreamweaver とは	3	ul/ol/li (リスト)	27
Dreamweaver の起動	3	定義リストを作る (DL,DT,DD タグ)	28
新規 HTML ファイルを作る	5	dl/dt/dd (定義リスト)	28
新規 CSS ファイルを作る	7	HTML タグと CSS (画像)	29
HTML ファイルにスタイルシートを添付する	8	■ 画像を挿入する (IMG タグ)	29
DREAMWEAVER のインターフェイス (操作画面)	9	img (画像)	29
画面各部の名称	9	テーブル機能	30
ドキュメントウィンドウの操作	10	■ テーブルを作る (TABLE タグ)	30
パネルグループの操作	11	table/tbody (テーブル)	30
ワークスペースの操作	13	■ セルの選択と文字の入力	31
サイトの管理	14	デザインビューでのセルの選択	31
サイトの管理でサイトを設定する	14	■ テーブルの編集	32
サイト管理のメリット	15	行・列の追加と削除	32
コードフォーマット	16	セルのマージ	33
p (段落) ・br (改行)	16	■ EXCEL からテーブルを挿入する	34
■ CSS での装飾 (FONT-FAMILY・FONT-SIZE・LINE-HEIGHT)	17	CSS の装飾	35
CSS デザイナーパネルの使用方法	17	■ コメントの入力	35
CSS ファイルへの直接入力	20	HTML のコメント入力	35
CSS の編集について	21	CSS のコメント入力	35
見出し (H タグ)	22	■ インデント	36
h1~h6 (見出し)	22	インデントについて	36
リンクを貼る (A タグ)	23		
a (リンク)	23		

Dreamweaver について

Dreamweaver について

Dreamweaver とは

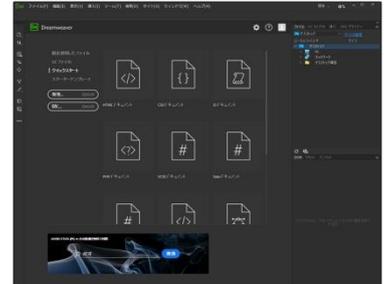
Dreamweaver とは

Adobe Dreamweaver (アドビ ドリームウィーバー) は、プログラムの入力補助機能を持ち、直接プログラムを記述することなく Web ページが作成できる Web オーサリングツールです。

Web ページの作成機能の他に、FTP 機能も持ち、Illustrator や Photoshop などのアドビソフトとの連携が可能なこともあり、Web デザイン業界ではシェア No.1 のソフトとして支持されています。

※通学授業では、Atom を使っていますが、Atom はカスタムエディタとなり WEB 専用というわけではないので、パッケージを入れて初めて WEB 制作に使えますが、Dreamweaver では最初からカスタムなしで WEB 専用の機能が使えるソフトです。WEB のデザインでは、Photoshop を使うことが多く、CC のコンプリートプランを利用されている方は、追加料金なしで Dreamweaver を使うことができます。

(通学者の方は、コースによってアカデミック版の購入特典が有ります)



Dreamweaver の起動

起動方法

- **Windows の場合**
画面左下の [スタート] ボタンから、[すべてのアプリ] - [Adobe Dreamweaver CC 2020] とクリックします。
- **Mac の場合**
[アプリケーション]フォルダーの[Adobe Dreamweaver CC 2020]フォルダーから開きます。

サイトの定義方法 (ローカルフォルダーの設定)

Dreamweaver では HTML や CSS、画像ファイルなどサイトを構成するファイルを一つのフォルダーにまとめて登録することで、サイト内のファイルやリンクなどを一括管理することができる「**サイト**」と呼ばれる機能を持っています。

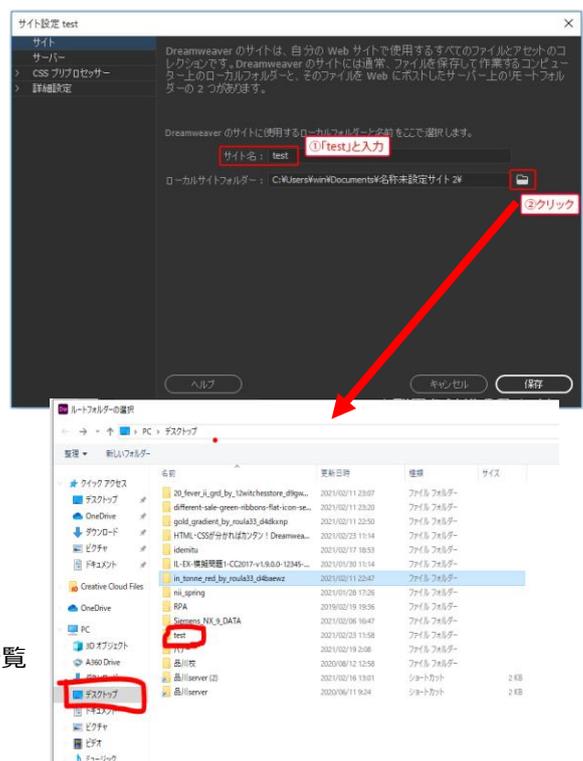
メニューバーより[サイト]-[新規サイト]を選択し、サイト設定ダイアログボックスを開きます。

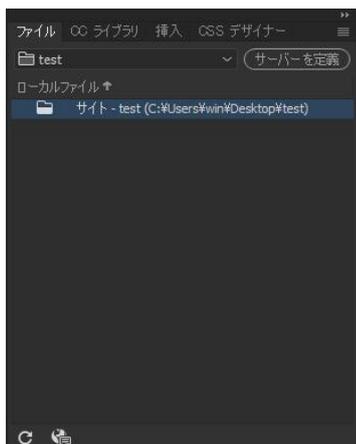
設定箇所は以下の 2 点です。

- **サイト名**：任意のサイト名を設定します。
※ここでは「test」と指定
- **ローカルサイトフォルダー**：フォルダーアイコンをクリックして、パソコン内の作業用フォルダー (ローカルフォルダー) を指定します。
※ここではデスクトップの「test」フォルダー。

設定が完了したら **[保存]** をクリックします。

サイト定義が完了すると、[ファイル]パネルにローカルフォルダー内のファイル一覧が確認できるようになります。





複数の Web サイトを同時進行で制作する場合は、それぞれの Web サイトごとにサイト定義を行い[ファイル]パネルで切り替えて作業をします。

サーバー側の設定は後の章で行います。

新規 HTML ファイルを作る

新規ファイル作成時の設定

HTML ファイルを作成するにあたって、事前に[環境設定]ダイアログボックスで設定を行う必要があります。

● 環境設定の開き方

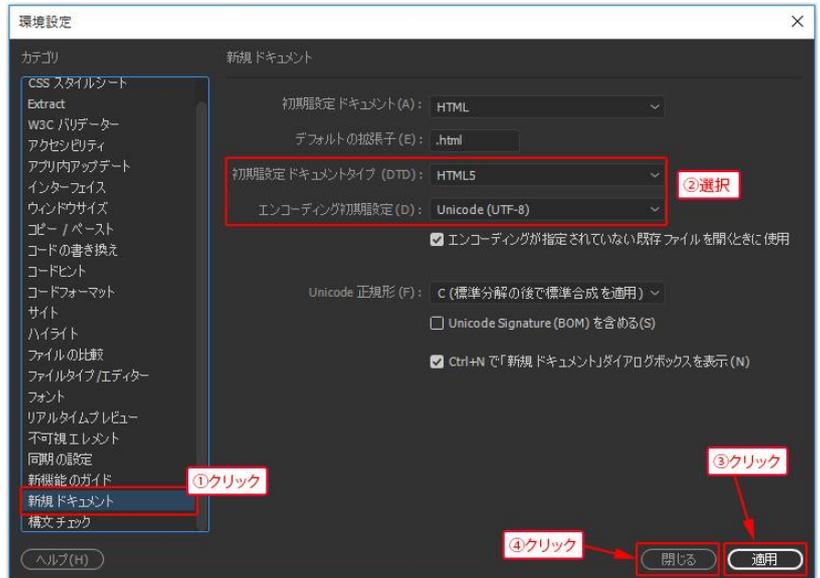
Windows：メニューバーの[編集]-[環境設定] を選択

Mac：メニューバーの[Dreamweaver]-[環境設定] を選択

[環境設定]ダイアログボックスを開き、左側のカテゴリー一覧から「新規ドキュメント」を選択します。

主に設定する項目は下記の3点です。

- **初期設定ドキュメント**：設定の対象となるファイルの種類を選択します。
※ここでは「HTML」を選択。
- **初期設定ドキュメントタイプ**：HTML のバージョンを選択します。
※ここでは「HTML5」を選択。
- **エンコーディング初期設定**：文字コードを選択します。
※ここでは「Unicode (UTF-8)」を選択。



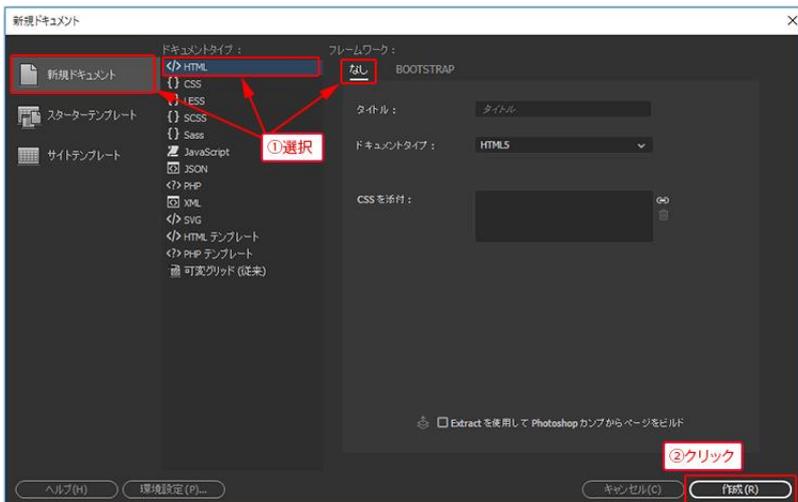
新規 HTML ファイルの作成

新規ファイルの作成方法は下記の通りです。

メニューバーの[ファイル]-[新規] を選択

※キーボードショートカット：【Ctrl+N キー】(Command+N キー)

[新規ドキュメント]ダイアログボックスの[新規ドキュメント] > [HTML] > [なし] を選択し[作成]ボタンをクリックすることで HTML ファイルが作成されます。



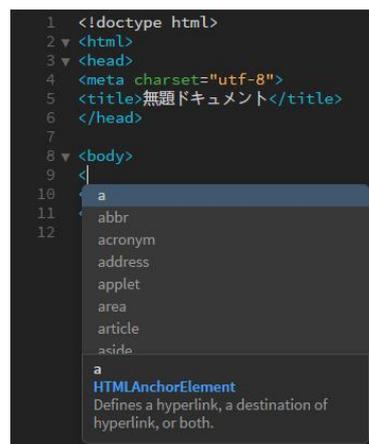
「コードヒント」によるコードの入力

コードヒントとは、コードビューにタグを入力していく際に入力候補のメニューが現れ、タグ入力をサポートする非常に便利な機能です。

半角英数モードで「<」と入力すると、自動的にコードヒントが表示され、HTML タグに含まれる英数字を入力すると、その英数字を含むタグの一覧に切り替わります。

キーボードの【↑キー】または【↓キー】で一覧から入力したいタグを選択し、【Enter キー】で確定します。「>」を入力して開始タグが入力できます。

また、開始タグの後に半角英数字で「</」と入力すると、開始タグに対応する終了タグが自動入力されます。



ファイルの保存

作成したファイルの保存方法は以下の通りです。

メニューバーの【ファイル】-【保存】を選択

※キーボードショートカット：【Ctrl+S キー】【Command+S キー】

※新規作成した html ファイルを【test.html】で保存してください。

既存ファイルの開き方

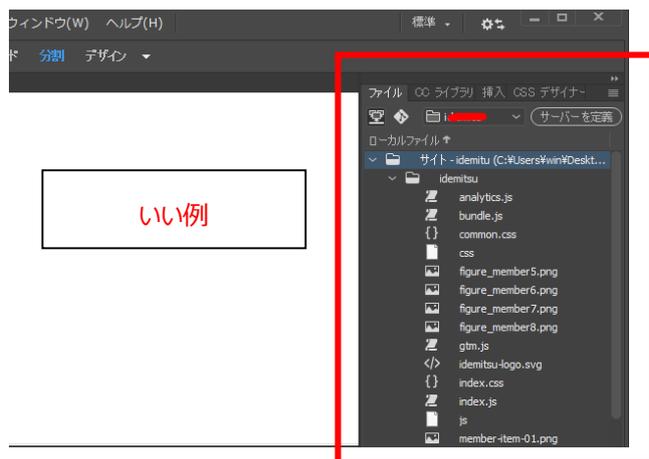
サイトのフォルダーに保存されたファイルは【ファイル】パネルに一覧で表示されます。【ファイル】パネルから開きたいファイルをダブルクリックすることで、既存のファイルを開くことができます。

●【ファイル】パネルの開き方

メニューバーの【ウィンドウ】-【ファイル】を選択

※キーボードショートカット：【F8 キー】

※詳しくは、サイト管理の章で説明しますが、Dreamweaver では他のソフトのようにメニューバーのファイルからではなく、必ずサイドにあるファイルパネルでファイルを開くようにしてください。



新規 CSS ファイルを作る

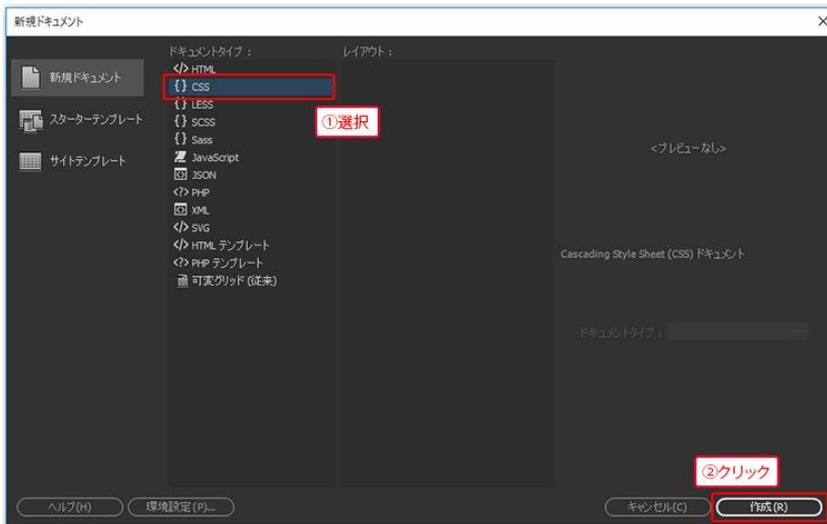
新規 CSS ファイルの作成

新規 CSS ファイルの作成方法は、HTML ファイルと同様に【新規ドキュメント】ダイアログボックスから作成します。

メニューバーの【ファイル】-【新規】を選択

※キーボードショートカット：【Ctrl+N キー】【Command+N キー】

【新規ドキュメント】ダイアログボックスの【新規ドキュメント】>【CSS】を選択し【作成】をクリックします。



新規ファイルにはあらかじめ以下の文字列が入力されています。

```
@charset "utf-8";
/* CSS Document */
```

1 行目の「@charset "utf-8";」は、この Web サイトで利用している文字コードを示すものなので消さずに残しておきます。

2 行目の「/* CSS Document */」は消してしまっても構いません。

ファイルの保存

作成したファイルの保存方法は以下の通りです。

メニューバーの【ファイル】-【保存】を選択

※キーボードショートカット：【Ctrl+S キー】【Command+S キー】

※新規作成した html ファイルを【test.css】で保存してください。

HTML ファイルにスタイルシートを添付する

作成した CSS ファイルは HTML ファイルに外部 CSS ファイルとして添付する必要があります。
Dreamweaver では[CSS デザイナー]パネルから外部 CSS ファイルを適用することができます。

● [CSS デザイナー]パネルの開き方

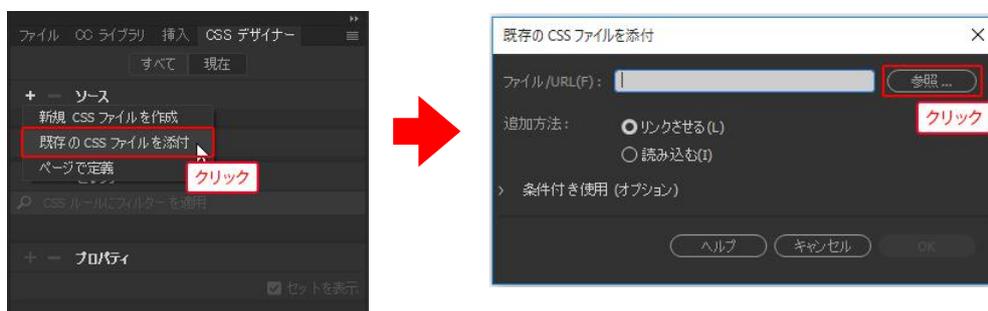
メニューバーの[ウィンドウ]-[ファイル] を選択

※キーボードショートカット：【Shift + F11 キー】(Shift + F11 キー)

※右クリック→[スタイルシートの添付]でも可

外部 CSS ファイルを適用したい HTML ファイルを開き、[CSS デザイナー]パネル[ソース]右横の「+」アイコンをクリックして、表示されたメニューから[既存の CSS ファイルを添付]をクリックします。

[既存の CSS ファイルを添付]ダイアログボックスが表示されますので[参照]をクリックし、[スタイルシートファイルを選択]ダイアログボックスから添付したい CSS ファイルを選択し、[OK] をクリックします。



CSS ファイルが適用されると、HTML ファイルの head タグ内に、以下のような link タグが挿入されます。

※ここでは HTML ファイルと同じフォルダーに保存されている「test.css」を適用しています。

```
<link href="test.css" rel="stylesheet" type="text/css">
```

```
1 <!doctype html>
2 <html>
3 <head>
4 <meta charset="utf-8">
5 <title>無題ドキュメント</title>
6 <link href="test.css" rel="stylesheet" type="text/css">
7 </head>
8
9 <body>|
10
11 </body>
12 </html>
13
```